

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2022年7月19日】第132号



バケツ稲は元気かな？

農大稲花小の3年生と4年生は4月28日(木)、「バケツ稲づくり」の栽培セットをランドセルに入れて持ち帰りました。東京農業大学と一般社団法人 全国農業協同組合中央会(JA 全中)が産学連携協定を締結したご縁で、農大稲花小の児童へとプレゼントされたものです。今年の不順な天候、また、夏休みにはご家庭でも旅行などが予定されているかもしれません。バケツ稲を育てることは簡単ではありませんが、できるところまで、頑張っしてほしいと思っています。途中でうまくいなくなっても、それはそれでよい学習になることでしょう。

農大稲花小の畑も、1年生がミニトマトを収穫したのを最後に、一度、畑を片づけて秋に向けて準備をしてもらうことになっています。1年生が畑にミニトマト収穫に行った日は、予測が外れて急な豪雨になってしまい、子どもたちはびしょ濡れで戻ってきました。しかし、たくさんの収穫を誇らしくご家庭にも持ち帰ったと思います。楽しい体験だけでなく、苦しい体験、困ってしまった体験など、いろいろな体験が、子どもたちの成長の糧になることを願っています。それにしても、風邪をひかなかったか、学校では数日間、心配していました。

水泳学習も無事に

開校初年度の2019年度、1年生が水泳学習をして以来、2020年度、そして2021年度は新型コロナウイルス感染防止のため、農大稲花小のプールは使われないうままでした。しかし今年度は、感染防止措置に配慮しながら1年生から4年生までの4学年で水泳学習を行うことができました。天候そのほかの配慮から中止になった日もありましたが、1年生、2年生、そして4年生は2回、3年生は3回の水泳学習を行いました。マスクをはずしたらおしゃべりしないという難しいルールの下でしたが、子どもたちはルールを守るためによく頑張っていました。一方、忘れ物があったり、健康調査(検温など)が不十分なため、見学となった子どもも毎日いました。持ち物の準備や健康調査が自分でできるようになることも、必要です。保護者の見守りは大切ですが、保護者まかせでは、いつまでたっても成長できないでしょう。それぞれの子どもの発達段階に合わせた見守りと指導とをまいりましょう。

PCR検査(任意)の実施

7月19日(火)からの小菅村宿泊学習を前に、事前PCR検査の機会を設け、任意で実施しました。子どもたちや引率教職員、そしてその家族、また子どもたちを受け入れ指導して下さる山梨県小菅村関係者の安全を守る一助とするためです。

当日は、「農大PCRセンター」から担当者が来校し、あらかじめ申し込みのあった希望者から唾液の採取を行いました。細いストローを通して1mi程度の唾液を容器に吐き出す方式で、もちろん痛みもなく、子どもたちにも容易でした。「農大PCRセンター」は世田谷キャンパスに2021

年6月に開設され、東京農業大学と共同開発研究を締結している(株)エアープランツ・バイオとの業務提携による運用が行われています。検査受付から約3時間で検査結果の判定が可能ということで、検査した全員の結果(陰性)が昼までに届き、ご家庭にお伝えすることができました。

なお、この度のPCR検査は、新型コロナウイルス蔓延の現状による判断です。今後の学校行事、校外学習、宿泊学習によるPCR検査を導入することを本校の方針としたものではありません。常に慎重に行動すること、そして、健康観察の確実な実施については、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



教育後援会の活動ご紹介

本校にはいわゆるPTAはありませんが、東京農業大学稲花小学校教育後援会は、本校の教育趣旨に基づいて本校と緊密な連絡を保ち、本校の教育及び教育研究を後援し、会員(保護者)相互の親睦と教育の向上を図るための活動をしています。1学期も間もなく終わりますが、4月以来、東京農業大学稲花小学校教育後援会の皆様には、「2022年度入学式」写真販売、校長による特別講座や「いつもありがとうインタビュー」など様々な「学校動画」の配信、「1年生 田植え体験」写真販売、第2回「ふくのりレー」、「3年生 小石川植物園・科学技術館遠足」写真販売、などの活動を行っていただきました。写真撮影は、プロのカメラマンに依頼していただいたことから、子どもたちの表情をよくとらえた素晴らしい写真ばかりです。また、動画は教育後援会の保護者様がカメラマンとなり、こちらも、それぞれの教職員のよい表情が捉えられています。様々な活動についてここに記して、御礼申し上げます。

米油を配布

7月12日(月), 1年生の子どもたちは, 東京農大の校友(卒業生)のご紹介によりポーソー油脂株式会社からご提供いただいた「米油」の大小2本を持ち帰りました。

ポーソー油脂株式会社様には, 2019年4月の本校開学以来, 毎年, 子どもたちに「米油」のご提供をいただいています。学校名にも使われている稲にこだわる本校ですので, 稲や米についての学習には力を入れています。校長も毎年, 2年生を対象に「稲に聞く」という授業を行っています。その際, 米糠について, さらに米糠から作る米油についての説明もするのですが, すでに米油の配布を受け, お家で味わったことのある児童の理解はしっかりしたものでした。1年生のご家庭でも, 「米油」について, その色をしっかり見て, またその味をじっくりと味わって, 学びの機会としていただければと思います。

なお, ポーソー油脂株式会社様には, 本校の食育へのご理解とご協力に, あらためて感謝申し上げます。

◇ ポーソー油脂株式会社 : <http://www.boso.co.jp/>

校長 夏秋 啓子